

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

4 月後半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「キムネクマバチ ミツバチ科」
体長 23mm。通称クマバチ。体が大きく羽音も迫力があるがおとなしい蜂。雄は縄張りを守る為ホバリングする。



「ムラサキツバメ シジミチョウ科」
開長約 4cm。南方系の蝶で近畿地方以西に分布しているが、温暖化の影響が北上傾向にある。マテバシイが食樹。



「オオゾウムシ オサゾウムシ科」
体長は 1-3cm と個体差が大きい。大形のゾウムシで凹凸のある体やビロード状の黒小紋で識別は容易。



「イワタイゲキ トウダイグサ科」
海岸の岩場や礫地に生える多年草。黄色い花びらのように見えるのは、蕾を包むように変形した葉。



☆「オオジシバリ キク科」☆
花径約 3cm。タンポポに似ているが花びらが少なく葉の形も違う。本種の葉はへら形。多年草。



☆「オニタビラコ キク科」☆
花径約 8mm。細い茎を何本も立ち上げ小さい花を沢山つける。葉は地表面だけで途中はあまりつかない。越年草。



☆「キラソウ シソ科」☆
石垣など排水の良い土地を好む多年草。地面に張り付くように放射状に広がる様子から別名ジゴクノカタワ。



☆「ムラサキサギゴケ サギゴケ科」☆
地面を這うように広がる多年草。花を飛んでいる鷺、株を苔に見立ててその名が付いた。



☆「ヒメスミレ スミレ科」☆
芝生などやや乾燥した日なたの草地に生える多年草。花はスミレに似た濃紫色で草丈は 8cm 程と小さい。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪

地…地玉の浜で観察することができます。

多年草…同じ株から何年も枯れずに花を咲かせ続ける 越年草（えつねんそう）…秋に芽を出して冬を越し春に花が咲く

陽射しも暖かく、外遊びが楽しい季節となりましたね。
動き出した生き物を観察しにぜひお越し下さい(^0^)/

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2024 年 4 月後半号
宇久井ビジターセンター



吉野熊野国立公園 宇久井半島

春版

フェリーターミナル方面
通行できません

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

自然観察の森

赤灯台

地玉(じこく)の浜

駒ヶ崎灯台

千尋の浜

(上地の浜)

松尾展望広場

外の取



凡例

- 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段

